

空き家で駅前活性化を



検討を積み重ねた駅前商店街の活性化策を発表する生徒たち。新温泉町浜坂の町商工会館

浜坂高生提案 交流食堂や観光活用

浜坂高（新温泉町菅屋）のグローバルキャリア類型で探究授業に取り組んでいる2年生11人が、JR浜坂駅前の新温泉町商工会館で提案会に臨んだ。地域の課題を把握し、検討を積み重ねてきた駅前商店街の活性化策をプレゼンテーション。高校生の感性を生かした空き家活用によってにぎわいを創出する案を示した。
(岡村博)

地域を知り自分で課題の解決策を検討しようと、大阪公立大学の池田千恵子准教授の指導を受けながら、生徒らは20回にわたって探究授業を行ってきた。提案会では二つの班が発

表。空き家が増えた駅前商店街を「人通りの多いにぎやかな場所にする」というテーマを設定した班は、空き家を巡って謎解きに挑戦しながら、観光客らに歩道を楽しんでもらう案を提示した。

別の班は、高齢者と学生・子どもが関われる交流スペースが少ないという課題から、空き家を活用して会話や勉強したり、料理ができる食堂を設ける案を発表。生徒たちは実際に空き家を見学するフィールドワークも行った。
登壇した井上蒼菜さん

(17)は「緊張しました。ちゃんと伝えられたらいいです」と話し、福原唯さん(16)は「商店街や役場の人などに応援してもらった」と振り返った。今回提案した内容は、さらにブラッシュアップして来年3月に改めて完成形を公表する。